



今月の表紙 川俣の元服式



1月22日(土)、川俣集会所で国の重要無形文化財に指定されている川俣の元服式が行われました。元服式は室町時代から約500年続くとされ、川俣地区出身の数え年20歳になる男子を対象として行われます。男子は血縁関係が遠くなった親戚の中から後見人を選び、親分・子分の契りを結ぶことで一人前の成人と認められます。川俣地区では、昔からこの儀式で結束を強めてきました。

今年、平尚也さんが元服式を迎えました。式を済ませ、晴れて成人の仲間入りをした平さんに感想を伺うと、「たくさんの人に祝ってもらえてとてもうれしいです。また、これで大人の仲間入りをしたので、もっと自覚を持ってやっていきたいと思っています」と話してくれました。

式終了後には、川俣の伝統芸能で県の無形民俗文化財に指定されている三番叟と恵比寿大黒舞(下写真)が披露され、地区を挙げて平さんの門出を祝いました。



鬼怒川温泉鬼まつり

2月5日(土)・6日(日)の2日間、鬼怒川温泉駅前広場で、鬼怒川温泉鬼まつりが開催されました。地元の食材を生かしたカモ汁の試食会には、冷えた体を温めようと多くの観光客の皆さんが集まりました。大方ラマキ大会では、旅館のおかみさんや一日駅長になった子どもたちが、1年の招福を祈願してお菓子などが入った福袋をまきました。

また、赤鬼のKIN Uちゃんや青鬼のKA WAちゃんなどが手を振るなど愛嬌を振りまくと、会場を訪れた皆さんはその愛らしさやいしぐさをカメラに収めていました。



花市・全日本しもつかれコンテスト

2月11日(金・祝)、今市地域の市街地大通りで花市が行われました。花市は、江戸時代以前から行われていた六斎市が、明治の初めごろに形を変えて始められたと伝えられています。今では1月に行われていた初市と一緒に、新春恒例の行事として続けられています。雪が降る寒い日となりましたが、会場には、たくさんの露店が並び、だるまや熊手などの縁起物や、植木、食べ物などを買い求める人でにぎわいました。

また、この日は大通り沿いのプラチナホームいまいちで、第11回全日本しもつかれコンテストが開催されました。コンテストは、来場者によるしもつかれの試食、投票により鉄人の称号が贈られるものです。投票の結果、今年の鉄人には、伊藤光子さん(文挾町)が選ばれました。



湯西川温泉 かまくら祭り



1月29日(土)、湯西川温泉かまくら祭りの第2節が始まりました。メイン会場には大きなかまくらやそり用すべり台が、また、沢口河川敷会場には、地元住民とボランティア、観光客が協力して作った800個のミニかまくらが登場。夕闇が迫るなか、ろうそくに火がともると、会場は幻想的な雰囲気になりました。



文化財防火演習

文化財防火デーにあたる1月26日(木)、日光二荒山神社で文化財防火演習が行われました。この日の演習は、本殿裏山付近より出火し、周辺の建造物への延焼が懸念され、神社職員1名がやけどしたとの想定で実施。参加した二社一寺自衛消防隊や日光消防署、日光消防団などは、真剣な表情で救助・救急搬送・放水訓練に取り組みました。



社会福祉大会

1月22日(土)、今市文化会館で第5回日光市社会福祉大会が開催されました。大会では、社会福祉の推進に功績のあった個人・団体に表彰状・感謝状が贈呈されました。その後、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちの実現に向けて、全力を傾ける」との大会宣言が行われました。

AEDのコンビニ設置

1月28日(金)、セーブオン日光東照宮前店で日光消防署員によるAED使用の実演が行われました。これは、(株)セーブオンの協力で、市内セーブオン3店舗(足尾店、日光東照宮前店、鬼怒川滝店)に設置したAEDを周知するためのものです。周辺自治会の皆さんが見つめるなか、救急車が出勤する緊張感のある実演で、AEDや心肺蘇生法の重要性を伝えました。



にっこのびのび体操

1月28日(金)、今市保健福祉センターで、にっこのびのび体操の講習会が開催されました。この体操は、市が昨年4月に生活習慣病予防を目的に考案したものです。会場に集まった73名の参加者は、講師の指導の下、動きを一つ一つ確認しながら、みんなで楽しく覚えられました。最後に、受講した証として日光仮面のイラスト入りの「のびのび隊」という缶バッジが交付されました。



引き続き、長寿番組「笑点」のレギュラーメンバーで、ピンク色の着物でおなじみの三遊亭好楽師匠による「人生、好んで楽しもう！」と題した記念講演が行われました。体験談や時事ネタを織り込み笑いを誘いながら、人生を楽しむ秘訣など生きていくことの喜びを伝えました。

また会場では、ふくしの標語コンクール入選作品も展示されました。